

町立病院からのお知らせ

このたび和水平町立病院に赴任しました志垣信行と申します。簡単に自己紹介をします。出身は熊本市で昭和29年生まれです。昭和55年に熊本大学医学部を卒業し、同大学付属病院第二外科に入局しました。研修医、大学院を経て昭和62年に荒尾市民病院外科に勤務し、平成6年から済生会熊本病院外科勤務し、平成19年から熊本市市民病院外科に勤務し、今年4月に和水平町立病院の院長に任命されました。

ご存じの通り和水平町立病院は常勤医師4人の小さな病院で、小児科、整形外科、脳外科などは非常勤の医師に診療をお願いしています。小さいながらも設備は整っており、CT検査装置も新調されています。各種血液検査はもちろん、内視鏡



院長 志垣 信行

検査、心エコー、腹部エコー、その他の生理検査も可能で、できないものといえはMRI検査ぐらいでしょうか。他病院との連携に関しては20分以内で玉名地区、山鹿地区の病院へ行くこともできますし、熊本市の病院にも1時間以内でのアクセスが可能です。また和水平町を見ますと人口約11,600人、少子高齢化の波は避けられず、ご高齢で慢性期疾患を抱えた患者さんが多いように思います。

このような状況から考えますと、和水平町立病院の使命は一般診療や検診から病気を早期に発見し、特に高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病を早期に治療して心筋梗塞や脳梗塞など重症化しないように予防医療を実践することだと考えます。また不幸にして大きな手術や心臓カテーテル治療などが必要になった場合は、急性期病院と連携して専門の医療機関で治療を受けていただき、病状が安定したら和水平町立病院で継続治療していければと考えています。いままでもこのような姿勢で診療が行われてきましたが、今後

て実践していきたいと思っています。私は今まで外科手術が主体の急性期医療を行ってきましたので慢性期医療については今から勉強しなければなりません。ただどちらの医療にしても原則は人と人の信頼関係を構築することと思っています。ですので、あまり心配はしていません。早く町立病院を知り、和水平町を知り、皆様の健康促進に役立つことができるようがんばりたいと思っています。よろしく

お願い申し上げます。

新任医者



消化器外科 佐藤 孝彦

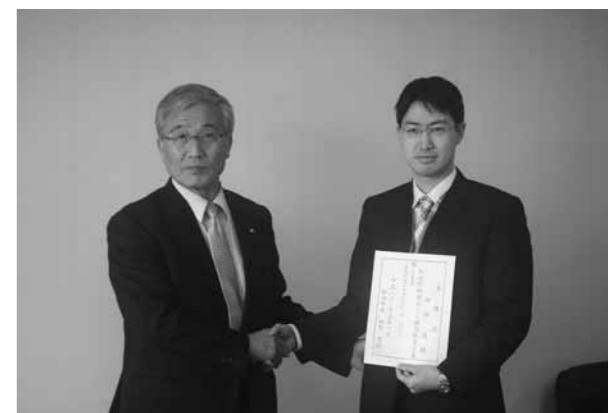
和水平町地域おこし協力隊 中田 進さんに委嘱状を交付

5月2日(月)和水平町地域おこし協力隊員として、中田進さん(前住所：大阪府豊中市)に坂梨町長から委嘱状が交付されました。

中田さんは、町内において農村生活体験など都市との交流事業の企画や、空き家対策に係る調査・検討、地域づくり団体等の活動支援など地域おこしに関わる活動に携わっていきます。

◆地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的として、総務省が取り組みを推進するものです。



地域おこしをお願いします

第24回全国健康福祉祭くまもと大会 ねんりんピック2011熊本 ペタンク交流大会 出場チーム決定!!



5月1日(日)に開催しましたねんりんピック2011熊本 ペタンク交流大会和水平町予選会に56チーム190人の参加があり、全国大会に出場するチームが次のとおり決定しました。

チーム名	選手			
ほっえみ	渡辺 洋	堤 テルヨ	牛島 麗子	
和仁B	嘉納 松生	田中 正美	福原加代子	
ふれあいA	上原土地王	荒尾 康博	井島 利代	
和仁F	小山 忠	竹下 精一	浦部三枝子	



全国大会出場チームの皆さん

交通ルールを守りましょう

5月19日(木)三加和温泉駐車場で和水平町交通安全キャンペーンが実施されました。これは、5月11日(水)から20日(金)にかけて全国一斉に開催される春の交通安全運動の一環として行われたものです。

当日は、交通安全協会などの団体や神尾保育園の園児がドライバーに「安全運転でおねがいします」と呼びかけを行いました。

悲惨な事故が起きないように、交通ルールを守り安全な社会を築いていきたいですね。



安全運転を呼びかける園児